THE BIG ISSUE JAPAN 日本版

ホームレスの仕事をつくり自立を応援する

166号
2011.5.1

スペシャルインタビュー
ナタリー・ポートマン

特集
無国籍
エアポケットを乗り越え、つながり生きる人々

300円のうち、160円が販売者の収入になります。

300円

無国籍

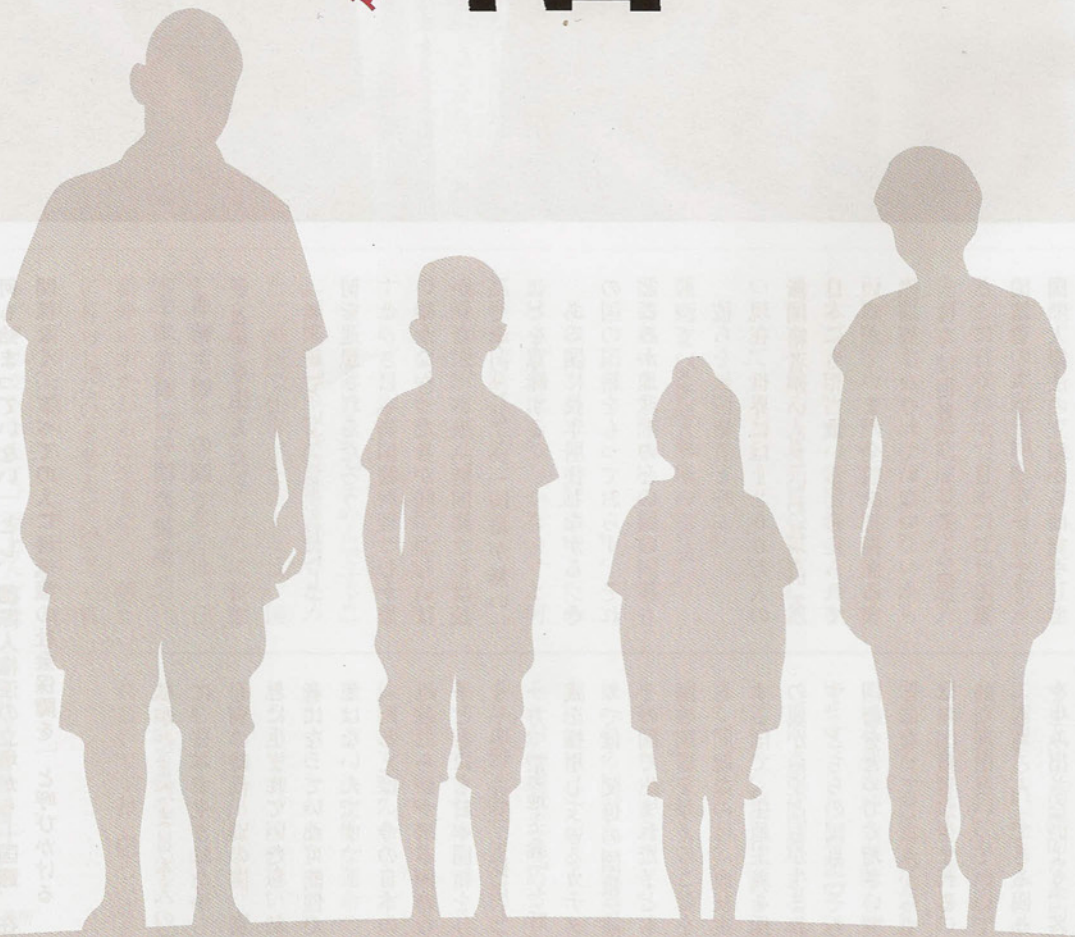
エアポケットを乗り越え、つながり生きる人々

ふだん「国籍」は、空気のように意識されていない。「無国籍」とは国籍をもたないこと。「無国籍」とは、どこの国の政府からも保護されず、法的なサポートやあらゆる社会福祉から置き去りにされることである。

では、日本にいったい何人の無国籍者がいるのだろうか？　実は無国籍者の全貌を把握する基本的な調査も行われたことがない。

しかし、出生届けがどこにも提出されず、法的に「存在しない」子どもたちは、日本だけで約2万人存在するともいわれている。その多くは、予防注射も就学もできない。

なぜ人は無国籍になるのか？　そして、日本で暮らす無国籍の人々の今は？

阿部浩己さんに「無国籍問題の背景と、必要とされる支援」について、法的に存在しないとされる「無国籍状態の子どもたち」について李節子さんに聞く。また、自身も無国籍者として半生を生きた陳天璽さんに「無国籍ネットワーク」の活動について聞く。

私たちにとって空気のような国籍とは何かを問いながら、世界で最も見落とされている問題の一つである、無国籍問題を考えたい。